

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年4月12日(2007.4.12)

【公表番号】特表2006-520778(P2006-520778A)

【公表日】平成18年9月14日(2006.9.14)

【年通号数】公開・登録公報2006-036

【出願番号】特願2006-506360(P2006-506360)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

A 6 1 K 47/06 (2006.01)

A 6 1 K 47/44 (2006.01)

A 6 1 K 47/34 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 31/04

A 6 1 K 47/06

A 6 1 K 47/44

A 6 1 K 47/34

【手続補正書】

【提出日】平成19年2月23日(2007.2.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

自然外口を有する液体含有器官の感染症状を治療及び／又は予防するための、外口から器官に投与する抗菌剤と、抗炎症剤、鎮痛剤及び解熱剤からなる群から選択される第二の薬剤との組み合わせであって、ここで該抗菌剤は、該抗菌剤、並びに、(a)水分散性でありかつエタノール不溶性である両親媒性油、(b)マイクロクリスタリンワックス、及び(c)製薬上許容される非水性担体を含む基剤を含む医薬組成物として投与される、上記の治療及び／又は予防するための組み合わせ。

【請求項2】

感染症状が乳汁産生動物の乳房の疾患であり、そして抗菌剤を含む組成物が乳房内注入により投与される、請求項1に記載の組み合わせ。

【請求項3】

感染症状が耳の障害又はこのような障害に関連する合併症であり、そして抗菌剤を含む組成物が耳注入により投与される、請求項1に記載の組み合わせ。

【請求項4】

第二の薬剤が、該第二の薬剤、並びに、(a)水分散性でありかつエタノール不溶性である両親媒性油、(b)マイクロクリスタリンワックス、及び(c)製薬上許容される非水性担体を含む基剤を含む医薬組成物として投与される、請求項1に記載の組み合わせ。

【請求項5】

抗菌剤が、天然及び合成ペニシリン型抗生物質、セファロスポリン、マクロライド、リンコサミド、プリューロムチリン、ポリペプチド、ポリミキシン、スルホンアミド、クロラムフェニコール、チアムフェニコール、フロルフエニコール、テトラサイクリン型抗生

物質、キノロン、フルオロキノロン、チアムリン、シプロフロキサシン、コリスチン、ドメクロサイクリン、マフェニド、メタサイクリン、ノルフロキサシン、オフロキサシン、ピリメタミン、スルファジアジン銀、スルファセタミド、スルフイソキサゾール、トブラマイシン、バネムリン、オキサゾリジノン、グリコペプチド、アミノグリコシド及びアミノシクリトール、アンフェニコール、アンサマイシン、カルバフェネム、セファマイシン、バンコマイシン、モノバクタム、オキサセフェム、全身性抗菌剤、抗生物質型抗新生物剤、ニトロフランスルホン、マルボフロキサシン、並びにそれらの互変異性体、立体異性体、エナンチオマー、塩、水和物及びプロドラッグからなる群から選択される、請求項1に記載の組み合わせ。

【請求項6】

セファロスポリンが、セフチオフル、セファレキシン、セフラジン、セフキノム、セファセトリル、セフボドキシム、セフォベシン、セファロニウム、セフロキシム、セファジジム、セフォペラゾン、セフェメトカルボン酸ナトリウム、セフェム、セファドロキシル、セファゾリンナトリウム、セフィキシミン、セフタキシム、セフチゾキシム、セフトリアキソン、*o*-ホルミルセファマンドール、3-アセトキシメチル-7-(イミノセタミド)-セファロスポラン酸誘導体の塩、7-(D- α -アミノ- α -(*p*-ヒドロキシフェニル)アセトアミノ)-3-メチル-3-セフェム-1-カルボン酸、syn-7-((2-アミノ-1-チアゾリル)(メトキシイミノ)アセチル)アミノ)-3-メチル-3-セフェム-1-カルボン酸の塩酸塩、セフェム酸、7-ベータ(2-(2-アミノ-4-チアゾリル)アセトアミド)-3-((1-(2-(ジメチルアミノ)エチル)-1H-テトラゾール-5-イル)チオ)メチル)-3-セフェム-4-カルボン酸(ピバロイルオキシ)メチル、セファレキシン、7-(D-2-ナフチルグリシルアミノ)-3-メチル-3-セフェム-4-カルボン酸、並びにそれらの互変異性体、立体異性体、エナンチオマー、塩、水和物及びプロドラッグからなる群から選択される、請求項5に記載の組み合わせ。

【請求項7】

抗菌剤がセフチオフル又はその製薬上許容される塩である、請求項1に記載の組み合わせ。

【請求項8】

第二の薬剤が、アセクロフェナク、アセメタシン、*e*-アセトアミドカプロン酸、アセトアミノフェン、アセトアミノサロール、アセトアニリド、アセチルサリチル酸、S-アデノシルメチオニン、アルクロフェナク、アルクロメタゾン、アルフェンタニル、アルゲストン、アリルプロジン、アルミノプロフェン、アロキシプリン、アルファプロジン、ビス(アセチルサリチル酸)アルミニウム、アムシノニド、アムフェナク、アミノクロルテノキサジン、3-アミノ-4-ヒドロキシ酪酸、2-アミノ-4-ピコリン、アミノプロピロン、アミノピリン、アミキセトリン、サリチル酸アンモニウム、アムピロキシカム、アムトルメチングアシル、アニレリジン、アンチピリン、アントラフェニン、アパゾン、ベクロメタゾン、ベンダザク、ベノリレート、ベノキサプロフェン、ベンズピペリロン、ベンジダミン、ベンジルモルフィン、ベルモプロフェン、ベタメタゾン、17-吉草酸ベタメタゾン、ベジトラミド、 α -ビスボロール、ブロムフェナク、*p*-ブロモアセトアニリド、酢酸5-ブロモサリチル酸、ブロモサリゲニン、ブセチン、ブクロクス酸、ブコロム、ブデソニド、ブフェキサマク、ブマジゾン、ブプレノルフィン、ブタセチン、ブチブフェン、ブトルファノール、カルバマゼピン、カルビフェン、カルプロフェン、カルサラム、セレコキシブ、クロロブタノール、クロロプレドニゾン、クロルテノキサジン、サリチル酸コリン、シンコフェン、シンメタシン、シラマドール、クリダナク、クロベタゾール、クロコルトロン、クロメタシン、クロニタゼン、クロニキシン、クロピラク、クロプレドノール、クローブ、コデイン、コデインメチルプロミド、リン酸コデイン、硫酸コデイン、コルチゾン、コルチバゾール、クロプロパミド、クロテタミド、シクラゾシン、デフラザコルト、デヒドロテストステロン、デラコキシブ、デソモルフィン、デソニド、デスオキシメタゾン、デキサメタゾン、21-イソニコチン酸デキサメタゾン、デキソキサ

ドロール、デキストロモラミド、デキストロプロボキシフェン、デオキシコルチコステロン、デゾシン、ジামプロミド、ジアモルフォン、ジクロフェナク、ジフェナミゾール、ジフェンピラミド、ジフロラゾン、ジフルコルトロン、ジフルニサル、ジフルプレドネート、ジヒドロコデイン、酢酸ジヒドロコデイノンエノール、ジヒドロモルフィン、アセチルサリチル酸ジヒドロキシアルミニウム、ジメノキサドール、ジメフェブタノール、ジメチルチアムブテン、酪酸ジオキサフェチル、ジピパノン、ジプロセチル、ジピロン、ジタゾール、ドロキシカム、エモルファゾン、エンフェナム酸、エノキシロン、エプタゾシン、エピリゾール、エテルサレート、エテンザミド、エトヘプタジン、エトキサゼン、エチルメチルチアムブテン、エチルモルフィン、エトドラク、エトフェナメート、エトニタゼン、エトリコキシブ、オイゲノール、フェルビナク、フェンブフェン、フェンクロズ酸、フェンドサル、フェノプロフェン、フェンタニル、フェンチアザク、フェブラジノール、フェブラゾン、フロクタフェニン、フルアザコルト、フルクロロニド、フルフェナム酸、フルメタゾン、フルニソリド、フルニキシシ、フルノキサプロフェン、フルオシノロンアセトニド、フルオシノニド、フルオシノロンアセトニド、フルオコルチンブチル、フルオコルトロン、フルオレゾン、フルオロメトロン、フルペロロン、フルピルチン、フルランドレノロンアセトニド、フルオロメトロン、フルプレドニデン、フルプレドニゾロン、フルプロクアゾン、フルランドレノリド、フルランドレノリド、フルランドレノロンアセトニド、フルルビプロフェン、フルチカゾン、フォルモコルタル、フォスフォサル、ゲンチジン酸、グラフェニン、グルカメタシン、サリチル酸グリコール、グアイアズレン、ハルシノニド、ハロベタゾール、ハロメタゾン、ハロプレドノン、ヘロイン、ヒドロコドン、ヒドロコルタメート、ヒドロコルチゾン、酢酸ヒドロコルチゾン、コハク酸ヒドロコルチゾン、ヘミコハク酸ヒドロコルチゾン、21-リシン酸ヒドロコルチゾン、シピオン酸ヒドロコルチゾン、ヒドロモルホン、ヒドロキシベチジン、イブフェナク、イブプロフェン、イブプロキサム、サリチル酸イミダゾール、インドメタシン、インドプロフェン、イソフェゾラク、イソフルプレドン、酢酸イソフルプレドン、イソラドール、イソメタドン、イソニキシシ、イソキセバク、イソキシカム、ケトベミドン、ケトプロフェン、ケトロラク、p-ラクトフェネチド、レフェタミン、レバロルファン、レボルファノール、レボフェナシル-モルファン、ロフェンタニル、ロナゾラク、ロルノキシカム、ロキソプロフェン、ルミラコキシブ、アセチルサリチル酸リシン、マジプレドン、メクロフェナム酸、メドリゾン、メフェナム酸、メロキシカム、メペリジン、メプレドニゾン、メプタジノール、メサラミン、メタゾシン、メタドン、メトトリメブラジン、メチルプレドニゾロン、酢酸メチルプレドニゾロン、コハク酸メチルプレドニゾロンナトリウム、スレプトン酸メチルプレドニゾロン、メチアジン酸、メトフォルイン、メトポン、モフェブタゾン、モフェゾラク、モメタゾン、モラゾン、モルフィン、塩酸モルフィン、硫酸モルフィン、サリチル酸モルフィン、ミロフィン、ナブメトン、ナルブフィン、ナロフィン、サリチル酸1-ナフチル、ナプロキセン、ナルセイン、ネフォパム、ニコモルフィン、ニフェナゾン、ニフルム酸、ニメスリド、5'-ニトロ-2'-プロボキシアセトアニリド、ノルレボルファノール、ノルメタドン、ノルモルフィン、ノルピパノン、オルサラジン、オピウム、オキアセプロール、オキサメタシン、オキサプロジン、オキシコドン、オキシモルフォン、オキシフェンブタゾン、パバベレトウム、パラメタゾン、パラニリン、パレコキシブ、パルサルミド、ペンタゾシン、ペリソキサール、フェナセチン、フェナドキシソン、フェナゾシン、塩酸フェナゾピリジン、フェノコル、フェノペリジン、フェノピラゾン、フェノモルファン、アセチルサリチル酸フェニル、フェニルブタゾン、サリチル酸フェニル、フェニラミドール、ピケトプロフェン、ピミノジン、ピペブゾン、ピペリロン、ピプロフェン、ピラゾラク、ピリトラミド、ピロキシカム、プラノプロフェン、プレドニカルベート、プレドニゾロン、プレドニゾン、プレドニバル、プレドニリデン、プログルメタシン、プロヘプタジン、プロメドール、プロパセタモル、プロペリジン、プロヘプタジン、プロピラム、プロボキシフェン、プロピフェナゾン、プロクアゾン、プロチジン酸、プロキサゾール、ラミフェナゾン、レミフェンタニル、リマゾリウムメチルスルフェート、ロフェコキシブ、サラセタミド、サリシン、サリチルアミド、サリチルアミドO-酢酸、サリチル酸、

サリチル硫酸、サルサレート、サルベリン、シメトリド、スフェンタニル、スルファサラジン、スリンダク、スベロキシドジスムターゼ、スプロフェン、スキシブゾン、タルニフルメート、テニダブ、テノキシカム、テロフェナメート、テトランドリン、チアゾリノブタゾン、チアプロフェン酸、チアラミド、チリジン、チノリジン、チキソコルトール、トルフェナム酸、トルメチン、トラマドール、トリアムシノロン、トリアムシノロンアセトニド、トロペシン、バルデコキシブ、ピミノール、キセンブシン、キシモプロフェン、ザルトプロフェン及びゾメピラクからなる群から選択される、請求項 1 に記載の組み合わせ。

【請求項 9】

第二の薬剤が非ステロイド性抗炎症剤である、請求項 1 に記載の組み合わせ。

【請求項 10】

非ステロイド性抗炎症剤が、デラコキシブ、パレコキシブ、セレコキシブ、バルデコキシブ、ロフェコキシブ、エトリコキシブ、ルミラコキシブ、2-(3,5-ジフルオロフェニル)-3-[4-(メチルスルホニル)フェニル]-2-シクロペンテン-1-オン、(S)-6,8-ジクロロ-2-(トリフルオロメチル)-2H-1-ベンゾピラン-3-カルボン酸、2-(3,4-ジフルオロフェニル)-4-(3-ヒドロキシ-3-メチル-1-ブトキシ)-5-[4-(メチルスルホニル)フェニル]-3-(2H)-ピリダジノン、4-[5-(4-フルオロフェニル)-3-(トリフルオロメチル)-1H-ピラゾール-1-イル]ベンゼンスルホンアミド、4-[5-(フェニル)-3-(トリフルオロメチル)-1H-ピラゾール-1-イル]ベンゼンスルホンアミド、それらの塩及びプロドラッグからなる群から選択される、請求項 9 に記載の組み合わせ。

【請求項 11】

(a) 水分散性でありかつエタノール不溶性である両親媒性油、(b) マイクロクリスタリンワックス、及び(c) 製薬上許容される非水性担体を含む基剤を含み；該基剤がその中に、抗菌有効量の抗菌剤、並びに、治療有効量の抗炎症剤、鎮痛剤及び解熱剤からなる群から選択される第二の薬剤とを安定的に分散している、医薬組成物。

【請求項 12】

両親媒性油が、ポリエチレングリコールによる天然トリグリセリドのアルコール分解反応によって製造されるポリグリコール化グリセリドである、請求項 11 に記載の組成物。

【請求項 13】

抗菌剤が、セフチオフル、セファレキシン、セフラジン、セフキノム、セファセトリル、セフボドキシム、セフォベシン、セファロニウム、セフロキシム、セファジジム、セフォペラゾン、セフェメトカルボン酸ナトリウム、セフェム、セファドロキシル、セファゾリンナトリウム、セフィキシミン、セフタキシム、セフチゾキシム、セフトリアキソン、o-ホルミルセファマンドール、3-アセトキシメチル-7-(イミノセタミド)-セファロスポラン酸誘導体の塩、7-(D-α-アミノ-α-(p-ヒドロキシフェニル)アセトアミノ)-3-メチル-3-セフェム-1-カルボン酸、syn-7-((2-アミノ-1-チアゾリル)(メトキシイミノ)アセチル)アミノ)-3-メチル-3-セフェム-4-カルボン酸の塩酸塩、セフェム酸、7-ペーター(2-(2-アミノ-4-チアゾリル)アセトアミド)-3-(((1-(2-(ジメチルアミノ)エチル)-1H-テトラゾール-5-イル)チオ)メチル)-3-セフェム-4-カルボン酸(ピバロイルオキシ)メチル、セファレキシン、7-(D-2-ナフチルグリシルアミノ)-3-メチル-3-セフェム-4-カルボン酸、並びにそれらの互変異性体、立体異性体、エナンチオマー、塩、水和物及びプロドラッグからなる群から選択される、請求項 11 に記載の組成物。

【請求項 14】

第二の薬剤が、デラコキシブ、パレコキシブ、セレコキシブ、バルデコキシブ、ロフェコキシブ、エトリコキシブ、ルミラコキシブ、2-(3,5-ジフルオロフェニル)-3-[4-(メチルスルホニル)フェニル]-2-シクロペンテン-1-オン、(S)-6,8-ジクロロ-2-(トリフルオロメチル)-2H-1-ベンゾピラン-3-カルボン酸、2-(3,4-ジフルオロフェニル)-4-(3-ヒドロキシ-3-メチル-1-ブトキシ)-

5- [4-(メチルスルホニル)フェニル]-3-(2H)-ピリダジノン、4-[5-(4-フルオロフェニル)-3-(トリフルオロメチル)-1H-ピラゾール-1-イル]ベンゼンスルホンアミド、4-[5-(フェニル)-3-(トリフルオロメチル)-1H-ピラゾール-1-イル]ベンゼンスルホンアミド、それらの塩及びプロドラッグからなる群から選択される、請求項12に記載の組成物。